

今週のフレーズ&ワード

to be on the safe side

～安全を見て、大事を取って～

個人としての資産をどう増やしていくか。低金利による運用難に加え、年金をどこまで当てにできるかも不透明な時代だからこそ、少しでもいい利回り (yield) で運用したい。誰しも考えることは同じですね。世界経済の先行きをどう読むのか、どんな商品に投資すべきか。正解はないので、自分なりの考えを伝えられるようにしておきましょう。とくに、日本の株式や不動産市場についてはしっかりネタを仕込んでおきたいですね。

To be on the safe side, I don't invest much in stocks in this volatile market.

安全を見て、この値動きの荒い市場では株式にはあまり投資しません。

to be on the safe side (安全のため) というフレーズです。「安全な側にいる」ということで、「安全のため」「大事を取って」という意味になります。不愉快な状況や芳しくない結果となる可能性がある場合、そのリスクを避けるために慎重な行動を取ることです。

stocks または shares は「株式」、volatile は「変化が激しい、値動きの荒い」という形容詞です。

投資の世界では、安全を見る行動を risk-averse (リスク回避の)、その逆を risk-taking (リスクを取った) といいます。

The real estate market remains sluggish, so to be on the safe side,

I'll take a wait-and-see stance.

不動産市場は相変わらず勢いに欠けるので、安全のために様子を見ます。

これも同様に、深追いをせず手堅くいく感じですね。市場を形容するときによく使う sluggish は「勢いが無い、弱含みの」という意味です。

wait-and-see は、Let's wait and see. (様子を見ましょう) の wait and see をつなげて形容詞とする用法です。

We can still make it at 6pm, but let's make it quarter past, just to be on the safe side.

6時でも大丈夫だけど、余裕を持って(6時)15分過ぎにしましょう

to be on the safe side は投資に限らず、人生全般に使えます。時間ですから「余裕を持って」と訳しましたが、「念のため」「大事を取って」という意味の延長です。quarter past は quarter past six の six が省略された形。同様に 30分すぎなら half past となります。

単語・熟語チェック

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> volatile 変化が激しい、値動きの荒い | <input type="checkbox"/> sluggish 勢いが無い、弱含みの |
| <input type="checkbox"/> wait-and-see stance 様子見のスタンス | <input type="checkbox"/> quarter past (〇時) 15分すぎ |